

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0533
施設名	上野保育園
施設所在地	台東区東上野6-20-7
法人名	社会福祉法人佳水会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然との関わり

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

図鑑が大好きな子どもたちが興味を持った植物を自分たちで育ててみようとなりました。園庭がないためあまり大規模な菜園はできないのでいつも給食で食べているお芋が畑でどのように育っているのか実物を見ることで植物への関心をもっと深める

2. 活動スケジュール

何を植えるか考え、種を植える。

どんな芽が出て、お花が咲くか想像してみる

葉っぱを触ったり、お花が想像していたお花か成長を見守る。

収穫したらどうするか考える。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

好きな時に成長を確認できるようにした。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

何を植えるかを考え、種をみんなで植える。毎日の水やりをし、成長を確認する。どんな花が咲くのかみんなで話したり、成長したらどんな料理をして食べたいか考える。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

(オジギソウ) 種がとても小さくて植えてたらどこにしまったかわからないという声がありました。オジギソウはおじぎをするんだと言って真似をして見せてくれました。はじめは図鑑でみた葉っぱと違うと言って触ってみましたがおじぎをしないのもう少し成長するのを待ってみようという話になりました。大きくなってきて図鑑で見た葉っぱになったのでおじぎをするかみんなに触ってみました。そっと触るとゆっくりおじぎをしたり、強く触ると早かったりという変化を楽しんでいました。

(きゅうり) きゅうりの花は何色?からはじまり、意見を出し合ったり、図鑑で調べて黄色だということを見つけていました。本当に成長した花が黄色だと喜んでいました。はじめにできた1本目を近くにある「金のかっぱ」にお供えしに行くという案が出ました。収穫するとチクチクする・痛いなどの感想もありました。栄養士さんにリクエストをして料理をしてもらい、給食で食べました。

(芋ほり) いもいもほりほりという絵本からいろいろな形のお芋があることに興味を示していました。お芋の料理の話もたくさん出て、自分たちが掘ったお芋を料理したいとなりました。何で掘るのがいいのか考えてシャベルで掘ろうという話になりましたが、実際は手で掘っている子もたくさんいました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

(オジギソウ・きゅうり) いつ葉が閉じはじめるのか、花はどのような様子なのか、想像しながら成長を見ていくことができた。家庭に持ち帰ったことで時間による変化にも気づくおとができた。花を遊びの中で作ってみたり、日常の保育にもつながった。 (芋ほり)
子どもの想像していたことと、実際のお芋ほりの違いがあることを感じた。普段、給食やおやつで出ているさつまいもがどういう風にできているのかがわかり、他の野菜もどのようにできているのか(土の中なのか、外なのかなど)話したり調べたりできたので興味を広げられたと思う。